

大賞

「風化」

土井宏二さん（石川県金沢市）

審査講評

人体を作品のテーマとすることは普遍に行われ、新たな切り口を見いだすことは非常に難しいが、「やきもの」という特殊な素材と技法を用いて、今日的な表現を成功させた作品と言えるでしょう。



記念事業

陶周展2004

CERAMIC ART 2004 TOKI, JAPAN

品決定

「やきもの」の伝統と歴史を持つ本市が、陶芸と彫刻の融合、すなわち『陶彫』という新たなジャンルの確立を目指す「第9回日本現代陶彫展2004」の本展が、12月12日まで市立陶磁器試験場・セラテクノ土岐で開催されました。

会場を訪れた人たちは、巨大なオブジェに驚きの声を上げるとともに、その完成度の高さに感心していました。



金賞

「だいちをあるく」

瀬田哲司さん（愛知県春日井市）



大賞受賞喜びの声

土井 宏一 さん



大賞を受賞した感想は？

本当にうれしいです。本展に進めただけでも、いい勉強・経験をさせてもらったと思っていました。これ以上の喜びはないです。

作品のコンセプトは？

人間の営みや記憶、彫刻も含めた「モノ」そのものの風化をテーマにしました。日常での喜びや感動なども、時間とともに風化していきます。いざれこの作品も、風に浸食され風化していき、形がなくなりません。風化していく中にも、強く記憶に残るものがあったほしい、そんな思いを込めた作品です。

「やきもの」を素材とした造形は、初めて？

普段から土を素材とした彫刻は造っています。屋外で耐久性のある土や化粧土を用いて本焼成まで行った作品は初めてでした。人体を、ここまで大きく造ったのも初めてでした。協力事業所の方などのアドバイスがあつて、作品を仕上げる事ができたと思います。

今後の展望は？

今回は、土をひも状にしたものを積み上げて、本焼成まで行いましたが、これを機に、また本焼成まで行う作品を造っていきたいと思えます。まだまだ、新しいことができると思うし、研究を続けていきます。



市制50周年
第9回日本現代
THE 9TH CONTEMPORARY

受賞作

銀賞

「祝祭〔森〕」

浅野暢晴さん（茨城県石岡市）





優秀賞

「たまきはる-光の雨降る」

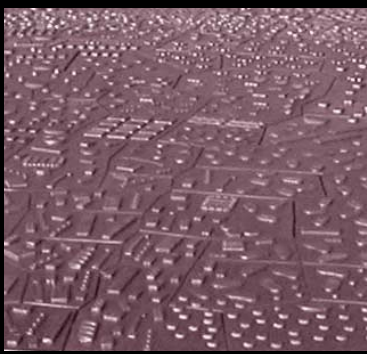
島 剛さん (茨城県笠間市)



優秀賞

「家」

後藤真子さん (愛知県津島市)



優秀賞

「還る」

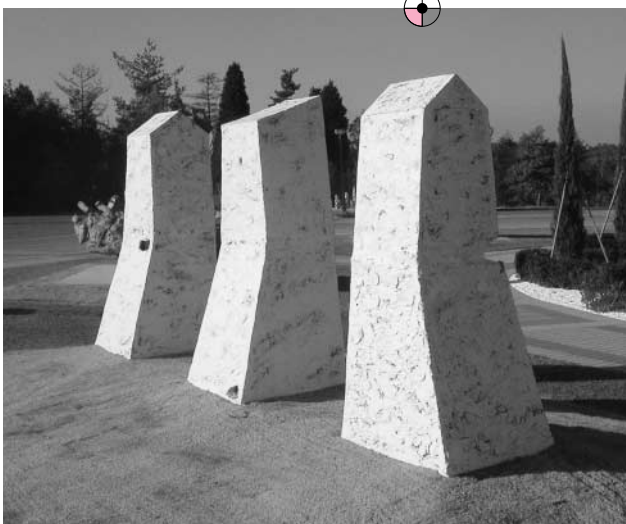
多和田千春さん (愛知県名古屋市)



優秀賞

「記録'04・VOL6」

竹屋 修さん (岐阜市)





優秀賞

「KAGUYA-SYSTEM」

林 茂樹さん（土岐市土岐津町）



優秀賞

「対柱（御天地ヲ結び）」

服部八美さん（岐阜市）



ご協力ありがとうございました。

第9回日本現代陶彫展2004は、次の皆さんに多大なるご協力をいただき、開催することができました。

■協力事業所

- 株式会社 開山窯インターセラム 様
- 高砂工業株式会社 様
- 株式会社 虔山 様
- 有限会社 マルホン製陶所 様
- 可見史郎 様

■制作アシスタント

- 相原正憲 様
- 斎田公昭 様

優秀賞

「想(sou)」

吉田利雄さん（栃木県宇都宮市）

